

2024年7月12日

各位

会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社  
代表者氏名 代表取締役 執行役員 社長 山下 尚登  
(コード番号 9265 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役 執行役員 吉田 弘幸  
(TEL 092-402-2922)

## 中期経営計画(2025年5月期～2027年5月期)の策定に関するお知らせ

当社は、2024年度を初年度とする3ヶ年計画「中期経営計画(2025年5月期～2027年5月期)」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

前中期経営計画(2022年5月期～2024年5月期)では、3年におよぶコロナ禍において、医療提供体制維持のため医療機関に対する継続的な支援が行われてきた中、診療や検査の増加等もあり、営業活動にまだまだ一定の制約はあるものの、最終年度である2024年5月期の連結売上高、連結営業利益は、共に業績目標を達成いたしました。

一方、今後当社グループを取り巻く事業環境は、物価高騰・賃金上昇といった経済社会情勢が非連続に変化し、不確実性が高まっていくことが想定されます。

このような状況の中、当社グループでは、企業理念である「地域のヘルスケアの貢献する」のもと、長期ビジョン「マルチプライビジョン2030」を策定し、マテリアリティ(重要課題)への取り組みをさらに強化すると共に、「持続可能な社会」への貢献と企業価値向上の実現に向けて、サステナブル経営を実践してまいります。

### 1. 中期経営計画の基本方針

2024年度を初年度とする「中期経営計画(2025年5月期～2027年5月期)」では、経営基盤の強化に向けた積極的な投資と、グループ機能向上による相乗効果の発揮を目指しております。また、当社グループにとって「人材」は最も重要な資本であると位置づけており、人材基盤の強化と従業員ワークエンゲージメントを向上させながら、当社グループで働く人々にとって魅力ある組織を目指します。

### 基本方針

「積極的投資とグループ機能向上によるバランス経営の実行」

## 2. 具体的施策

### (1) 人的資本経営の推進

グループ全社の持続的な成長と人的資本の最大化を図るため、採用・教育・育成の充実を図りながら、会社ビジョンと個人ビジョンの相互実現を目指す。

- ① 採用・教育・育成の包括的な体制の整備
- ② 個々人の資質やキャリアを踏まえた人事戦略
- ③ サクセッションプランによる横断的グループマネジメント

### (2) グループ間連携による新たな価値の創出と生産性向上

事業環境が著しく変化する中、事業会社間の連携、持株会社との連携を密接にし、グループ全社が一体となった事業展開を図ると共に、デジタル社会に対応したDXの推進を図る。

- ① 新規顧客・新規市場の開拓
- ② 提供商材・サービスの拡充
- ③ DXの推進による生産性向上

### (3) 持続的成長に向けた投資の実施

事業領域の拡充や潜在需要の顕在化に向けた積極的な投資を加速しながら、グループ機能の拡充や働き方改革に向けたシステム投資・DX投資を継続する。

- ① 協業や実務支援による新商材・サービスの提供
- ② 長期ビジョン（マルチプライビジョン2030）に準じたM&Aの継続
- ③ 社内インフラ投資によるグループ機能の拡充、更なる職場環境の整備

### (4) ESG経営による地域社会への貢献

「地域のヘルスケアに貢献する」企業として、医療機器をはじめとする関連サービスの安定的な供給を通じて、社会課題の解決に取り組む。

- ① 物流機能による社会貢献と付加価値創出の両立
- ② BCP(事業継続計画)による社会インフラ機能の維持
- ③ 離島・過疎化の地域に対する医療材料の安定供給

### (5) ガバナンス最優先の風土醸成

社会や株主等から認められ、必要とされる企業であり続けるため、高い倫理観を持つ人材を育成し、経営の透明性を確保しながら、当社の事業活動に関係する個々の利益を守る。

- ① 企業価値向上に向けたコーポレートガバナンス・コードの推進

- ② コンプライアンス研修の継続と深化
- ③ 人権尊重を踏まえたハラスメント防止意識の浸透

### 3. 業績目標

	2027年5月期経営目標
(1) 連結売上高	73,000百万円
(2) 連結営業利益	950百万円
(3) 連結営業利益率	1.3%以上
(4) 連結経常利益	1,000百万円

### 4. 資本コストや株価を意識した経営

#### (1) 企業価値向上に向けた取り組み方針

経営指標	目標	参考(2024年5月期)
株価純資産倍率(PBR)	1倍以上	0.8倍
自己資本当期純利益率(ROE)	10%以上	7.1%

- ① M&Aやパートナーシップ強化による収益性向上
- ② ヘルスケア分野の社会問題解決に資する投資
- ③ コーポレートガバナンス・コード推進による透明性・公正性の確保

#### (2) 株主還元の方針

経営指標	目標	参考(2024年5月期)
配当性向	30%以上	30.7%

- ① 連結子会社である山下医科器械株式会社の創業100周年記念配当による株主還元(2026年8月)
- ② 自己株式取得による機動的な資本政策
- ③ 株主・投資家との対話強化による経営改善

※「中期経営計画(2025年5月期～2027年5月期)」の詳細につきましては、補足説明資料をご参照ください。

以上

地域のヘルスケアに貢献する



# 中期経営計画

(2025年5月期～2027年5月期)

2024年7月12日





## 中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）

### 目次

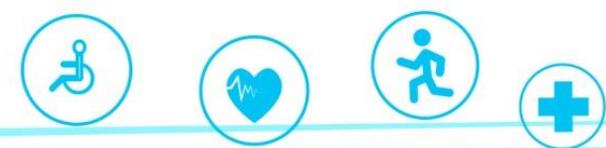
- （1）ヤマシタヘルスケアホールディングスの目指す姿
- （2）グループ経営方針
- （3）具体的施策
- （4）経営目標
- （5）資本コストや株価を意識した経営



## 中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）

### 目次

- （1）ヤマシタヘルスケアホールディングスの目指す姿
- （2）グループ経営方針
- （3）具体的施策
- （4）経営目標
- （5）資本コストや株価を意識した経営



経営理念  
(価値観)

## 地域のヘルスケアに貢献する

ミッション  
(存在意義)

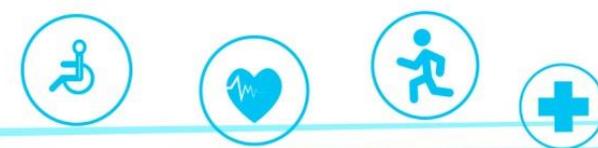
新しい時代に向けた商品やサービスの開発に務め、医療機器販売事業を基軸に、患者様や人々のQOL（クオリティオブライフ＝生活の質）を向上させる取り組みを、九州から全国へ発信し、サステナブルな社会に向けて、医療・福祉・介護・在宅医療などのヘルスケア領域の明日を支えるトータルヘルスケアサポート企業であり続ける。

長期ビジョン  
(ありたい姿)

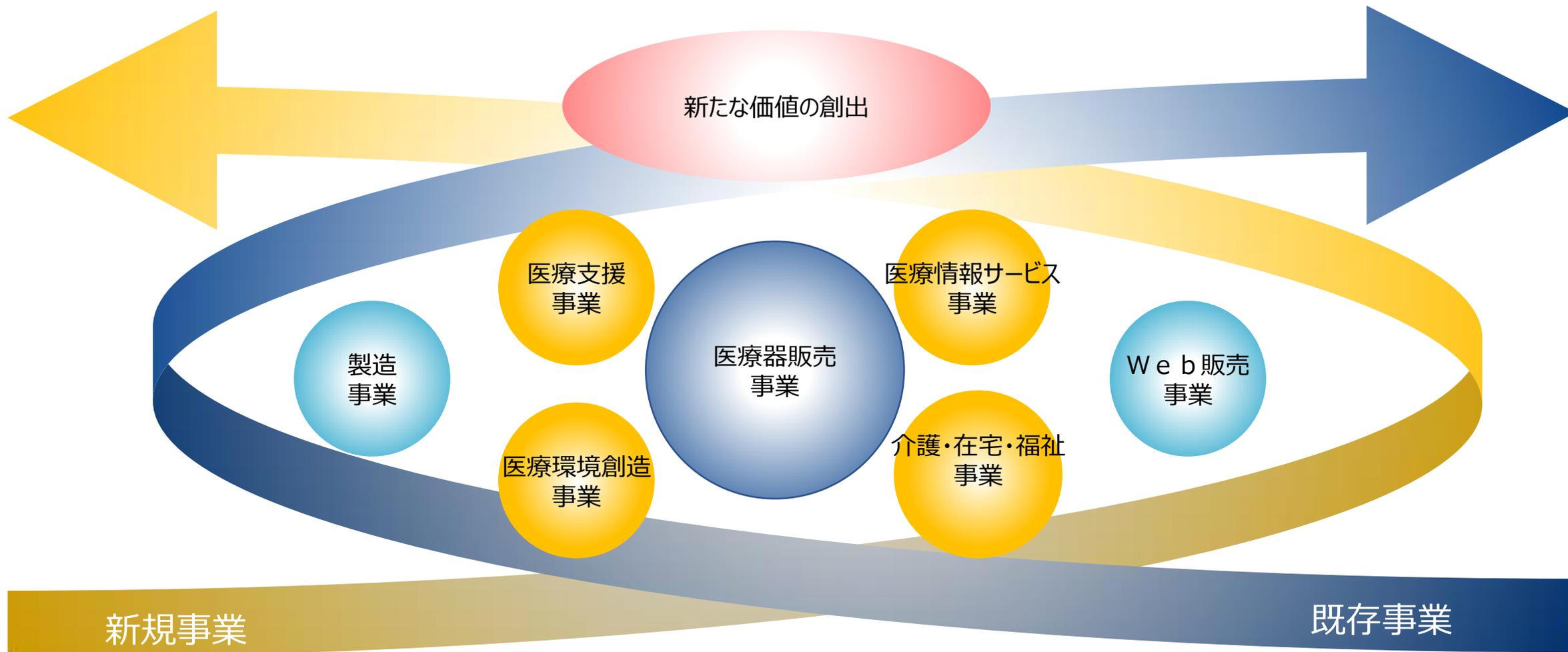
### 「マルチプライビジョン2030」

私たちは、持続的なヘルスケアサービスを提供し、予測困難な時代に対応するレジリエントカンパニーとして、サステナブルな社会に求められる新たな価値を創出し続け、中核事業と新規事業の掛け合わせ（マルチプライ）による加速度的な成長を目指します。

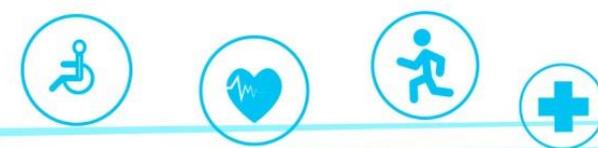
# (1) 当社グループの目指す姿 (長期ビジョン)



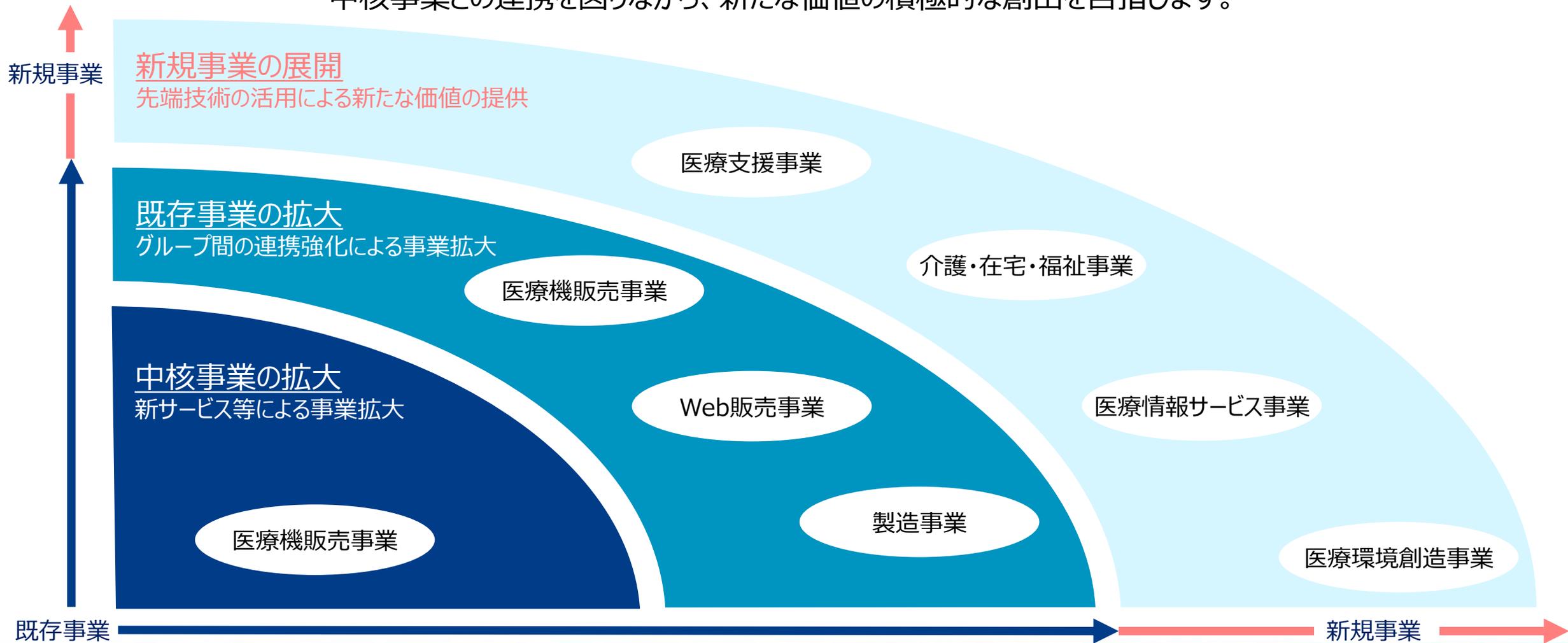
中核事業との親和性が高い事業の拡充を図り、企業価値の持続的な成長を目指します。



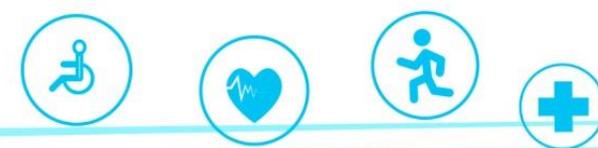
# (1) 当社グループの目指す姿 (長期ビジョン)



中核事業との連携を図りながら、新たな価値の積極的な創出を目指します。



# (1) 当社グループのマテリアリティ (重要課題)



## 当社グループ4つのマテリアリティ

## マテリアリティに対する補足

### ① 事業創造を通じて 社会課題を解決

私達は「地域のヘルスケアに貢献する」という経営理念のもと、先端技術の活用をはじめ、新規事業の展開を通じて様々な社会課題の解決に向けて取り組みます。そして全ての人が生き生きと働く社会の実現を図ります。

### ② 地球環境への 責任と対応

持続可能な社会実現のため、地球環境の保全は社会の一員として果たすべき課題です。当社グループの事業活動を通して排出される温室効果ガスを削減していくとともに、気候変動や地球環境への対策を推進しながら、持続可能な社会の実現に貢献します。

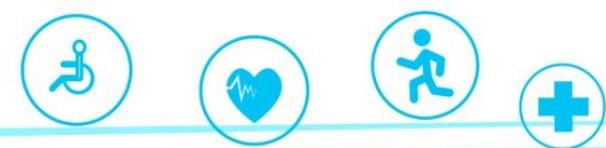
### ③ 価値あることを正しく遂行する ガバナンスの強化

ガバナンス強化もまた当社グループ経営の重要課題の一つです。コンプライアンスおよびFCPA腐敗防止対策の徹底を行い、透明かつ健全な経営を行います。また、経営の意思決定のスピードと質を上げるための、強固なコーポレート・ガバナンス体制を構築し、実効性を担保します。

### ④ 経営戦略と一体となった 人材育成

「人材」は当社グループにとって最も重要な資本であり、より高い事業成長を続けていくための競争力の源泉となります。多様な人材の採用、また採用後の教育、タレントマネジメントを通じて、能力を最大限に発揮する人材を育成します。

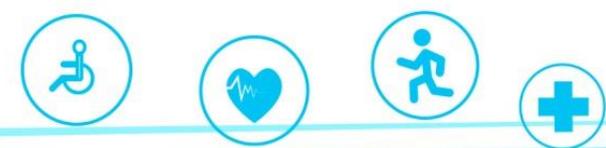




## 中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）

### 目次

- （1）ヤマシタヘルスケアホールディングスの目指す姿
- （2）**グループ経営方針**
- （3）具体的施策
- （4）経営目標
- （5）資本コストや株価を意識した経営



### 主な外部環境の変化

労働人口減少、超高齢化による人手不足・人材獲得競争激化

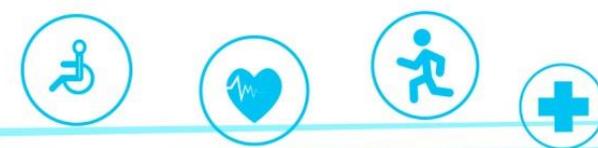
ワークスタイルの多様化、働きやすい環境づくり

サステナビリティの重要性の高まり

医療分野におけるデジタル化の加速、技術革新

医療費抑制（診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の改定）

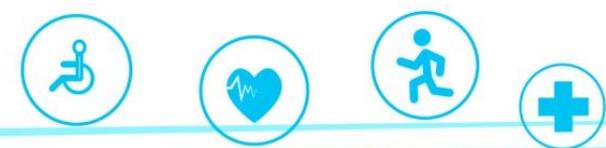
- ・働き方の多様化や柔軟化、**労働人口減少**による**働き手の確保**
- ・**医療費抑制**（診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス等報酬の改定）による**市場成長の停滞**
- ・**デジタル技術の活用**による**新商材・サービス提供**の機会および**社内業務の効率化**



中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）

# ～積極的投資とグループ機能向上による バランス経営の実行～

私たち、ヤマシタヘルスケアグループは、「人的資本」を中心とした積極的な成長投資のもと、共に働く人々にとって魅力ある組織を目指します。



中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）

# ～積極的投資とグループ機能向上によるバランス経営の実行～

**積極的投資**

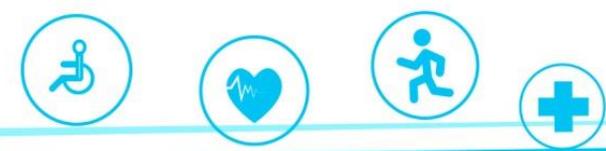
最も重要な資本「人的資本」を中心に「物流」「IT」への投資

**グループ機能向上**

人材基盤の強化等によるグループとしての相乗効果の発揮

**バランス経営**

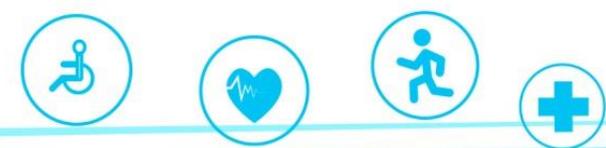
持続的成長と共に働く人々、株主への還元のバランス追求



中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）

# ～積極的投資とグループ機能向上によるバランス経営の実行～

- 1 人的資本経営の推進
- 2 グループ間連携による新たな価値の創出と生産性向上
- 3 持続的成長に向けた投資の実施
- 4 ESG経営による地域社会への貢献
- 5 ガバナンス最優先の風土醸成
- 6 グループ本社としての体制確立



## 中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）

### 目次

- （1）ヤマシタヘルスケアホールディングスの目指す姿
- （2）グループ経営方針
- （3）具体的施策**
- （4）経営目標
- （5）資本コストや株価を意識した経営



## 1 人的資本経営の推進

グループ全社の持続的な成長と人的資本の最大化を図るため、採用・教育・育成の充実を図りながら、会社ビジョンと個人ビジョンの相互実現を目指す。

採用・教育・育成の包括的な体制の整備

個々人の資質やキャリアを踏まえた人事戦略

サクセッションプランによる横断的グループマネジメント



### 相互実現

【社員】  
個人ビジョン

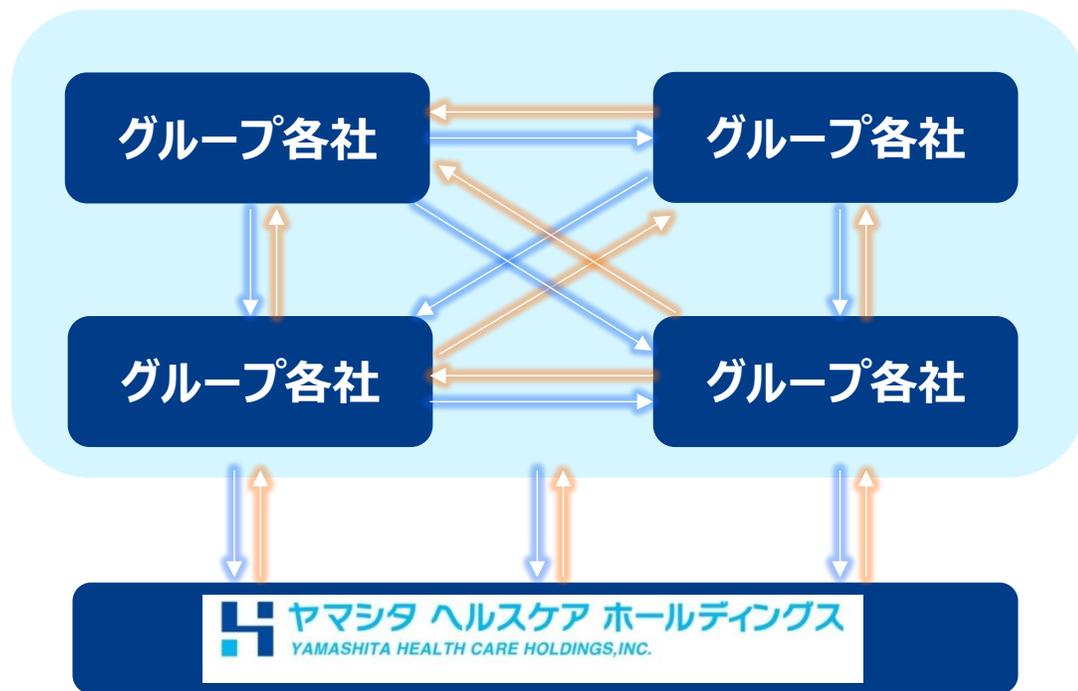


【経営】  
会社ビジョン



## 2 グループ間連携による新たな価値の創出と生産性向上

事業環境が著しく変化する中、事業会社間の連携、持株会社との連携を密接にし、グループ全社が一体となった事業展開を図ると共に、デジタル社会に対応したDXの推進を図る。



- 新規顧客・新規市場の開拓
- 提供商材・サービスの拡充
- DXの推進による生産性向上



## 3 持続的成長に向けた投資の実施

事業領域の拡充や潜在需要の顕在化に向けた積極的な投資を加速しながら、グループ機能の拡充や働き方改革に向けたシステム投資・DX投資を継続する。

(参考) プレストスキャン開発イメージ

開発

協業や実務支援による新商材・サービスの提供

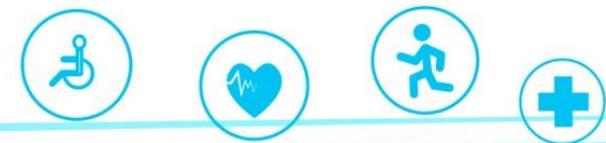
M&A

長期ビジョン（マルチプライビジョン2030）に準じたM&Aの継続

システム  
DX

社内インフラ投資によるグループ機能の拡充、更なる職場環境の整備





## 4 ESG経営による地域社会への貢献

「地域のヘルスケアに貢献する」企業として、医療機器をはじめとする関連サービスの安定的な供給を通じて、社会課題の解決に取り組む。



物流機能による社会貢献と付加価値創出の両立

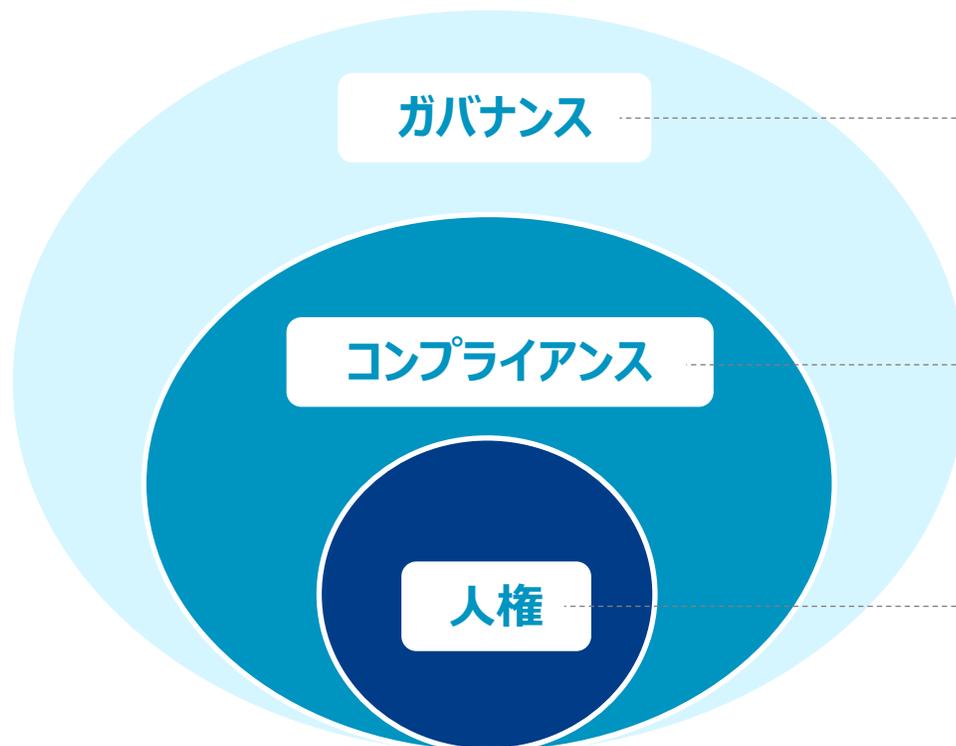
BCP(事業継続計画) による社会インフラ機能の維持

離島・過疎化の地域に対する医療材料の安定供給



## 5 ガバナンス最優先の風土醸成

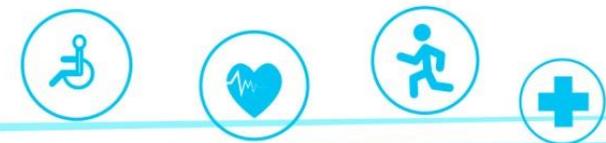
社会や株主等から認められ、必要とされる企業であり続けるため、高い倫理観を持つ人材を育成し、経営の透明性を確保しながら、当社の事業活動に関係する個々の利益を守る。



企業価値向上に向けたコーポレートガバナンス・コードの推進

コンプライアンス研修の継続と深化

人権尊重を踏まえたハラスメント防止意識の浸透

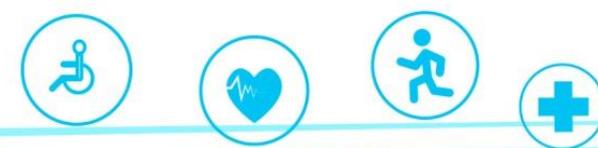


## 6 グループ本社としての体制確立

持株会社のグループ管理意識を向上し、業容拡大や新規事業にも柔軟に対応できるグループとしての組織強靭化を図る。



グループ各社が最適な事業運営を実行できる体制へ



## ヤマシタヘルスケアホールディングスのESG基本方針

ヤマシタヘルスケアホールディングスグループは、「地域のヘルスケアに貢献する」企業として、医療機器をはじめとする関連サービスの安定的な供給を通じて、社会課題の解決に貢献してまいります。

### 環境 Environment

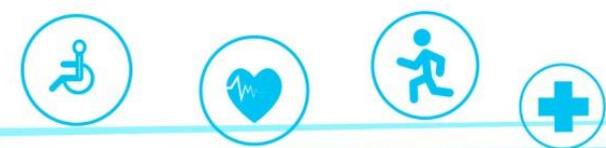
『私たちは、環境保全もまた人類共通の重要課題と認識します。当社グループの事業活動において、省エネルギーに資する設備の導入やエネルギー効率を高める運用改善などを推進し、CO2排出抑制と省エネルギーに貢献し、自然環境への配慮と負荷の低減に努めます。』

### ガバナンス Governance

『私たちは、関連法規をはじめ、コンプライアンス遵守に努め、社会の規範となる高度な倫理性に根ざした事業活動に努めます。また、経営の透明性を高めることにより、企業価値を更に向上させていきます。』

### 社会 Social

『私たちは、地域、社会の期待に応える幅広いヘルスケアサービスの提供によって、地域の発展を支えています。また、価値創造に貢献できる高い専門性を持つ人材育成、多様性のある人材活用を通じ、全てのステークホルダーと協働することで、社会が抱える課題解決に取り組めます。』



## 中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）

### 目次

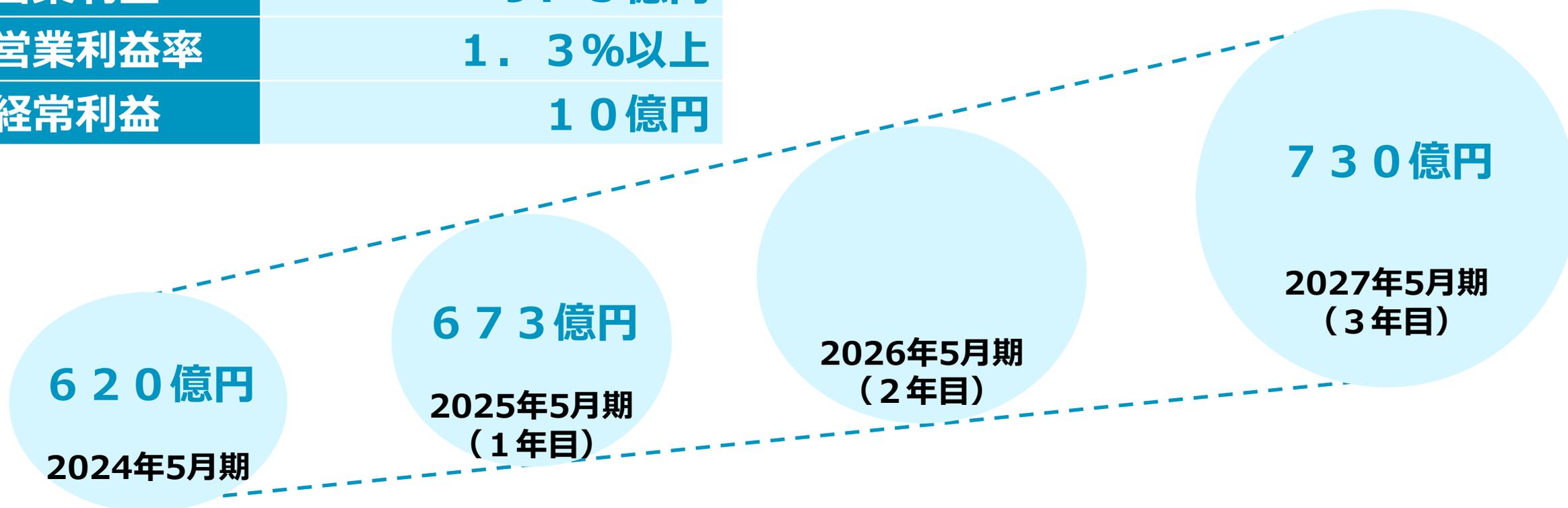
- （1）ヤマシタヘルスケアホールディングスの目指す姿
- （2）グループ経営方針
- （3）具体的施策
- （4）経営目標**
- （5）資本コストや株価を意識した経営

## (4) 経営目標



### 2027年5月期経営目標

売上高	730億円
営業利益	9.5億円
営業利益率	1.3%以上
経常利益	10億円





## 中期経営計画（2025年5月期～2027年5月期）

### 目次

- (1) ヤマシタヘルスケアホールディングスの目指す姿
- (2) グループ経営方針
- (3) 具体的施策
- (4) 経営目標
- (5) 資本コストや株価を意識した経営

## (5) 資本コストや株価を意識した経営



### ① 企業価値向上に向けた取り組み方針

経営指標	目標	参考 (2024年5月期)
株価純資産倍率 (PBR)	1倍以上	0.8倍
自己資本当期純利益率 (ROE)	10%以上	7.1%

### ② 株主還元の方針

経営指標	目標	参考 (2024年5月期)
配当性向	30%以上	30.7%



① 企業価値向上に向けた取り組み方針

経営指標	目標	参考（2024年5月期）
株価純資産倍率（PBR）	1倍以上	0.8倍
自己資本当期純利益率（ROE）	10%以上	7.1%



M&Aやパートナーシップ強化による収益性向上

ヘルスケア分野の社会問題解決に資する投資

コーポレートガバナンス・コード推進による透明性・公正性の確保



## ② 株主還元の方針

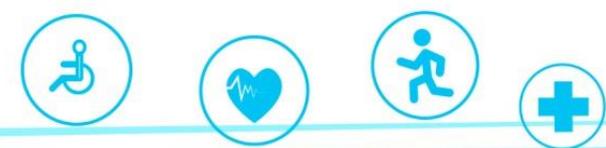
経営指標	目標	参考 (2024年5月期)
配当性向	30%以上	30.7%

### 創業100周年記念配当による株主還元

※連結子会社の山下医科器械株式会社は、2026年8月に創業100周年を迎えます。

### 自己株式取得による機動的な資本政策

### 株主・投資家との対話強化による経営改善



本資料は、当社の事業内容等をご説明するために、現時点で入手できる情報に基づき、当社が作成したものです。今後の業績等については、様々な要因によって計画数値と異なる結果となる可能性があります。投資を行う際には、投資家ご自身のご判断でなさるようお願いいたします。

## お問い合わせ先

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 経営企画室 総務課

T E L : 092-402-2922

F A X : 092-402-2962

E - M A I L : [legal@yamashitaika.co.jp](mailto:legal@yamashitaika.co.jp)

U R L : <https://www.yhchd.co.jp/>



←当社からのメールの配信を希望される方はこちら

三菱UFJ信託銀行メール配信サービスRIMSNETよりご登録下さい。

登録後、当社が開示資料をホームページに掲載した場合、速やかにご案内が届きます。